授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務)		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容業務に18年間従事した経験がある			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合計)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	圧迫面接	
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1	1 3-4から3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す	
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2	3-4から3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3	3-4から3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る	
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	15	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	16	自己PRの作り方1	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	17	自己PRの作り方2	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	18	自己PRの作り方3	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	19	中間テスト		
	20	履歴書作成	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)(改定案)

科目名	実践行動学 I (就職実務)		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容業務に18年間従事した経験がある			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合計)		週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後期	1	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	3	作成書類 1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成	
	4	作成書類 2		
	5	作成書類 3		
	6	企業訪問	5-1.5-2 準備、当日、事後の指導をしてください	
	7	就職試験のマナー 1	5-2~5-3(実践編) 入退室	
	8	職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1	
	9	職試験のマナー 3	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2	
	10	筆記試験対策 1	5-5.5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る	
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学 I	指導担当者名	①橋本利加子②柿沼文恵
実務経験	①エステシャンとして30年実務経験 ②エステティシャン5年、美容関係営業2年		実務経験: ①有②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合計)	週時間数	6時間
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける 日本エステティック試験センター筆記試験		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テスト		
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集		
授業外学習の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	ビューティ学とは
	2	エステティック概論	エステとマッサージの違い
	3	〃	内面からきれいにする考え方
	4	解剖生理学	人体とは
	5	解剖生理学	骨格系
	6	解剖生理学	筋肉系
	7	解剖生理学	消化器系
	8	皮膚科学	皮膚の構造
	9	皮膚科学	生理機能
	10	皮膚科学	肌診断(4種類の肌
	11	運動生理学	運動の必要性
	12	運動生理学	筋肉・呼吸器・循環器と運動
	13	期末テスト	
	14	カウンセリングシート	アドバイス
	15	運動生理	カウンセリングシート作成
	16	解剖生理学	人体とは 細胞・組織・器官
	17	解剖生理学	構造とメカニズム
	18	解剖生理学	骨格系・筋系
	19	解剖生理学	消化器系 呼吸器系
	20	解剖生理学	循環器系 心臓・血管
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)(改定案)

科目名	ビューティ学 I		指導担当者名	①橋本利加子②柿沼文恵	
実務経験	①エステシャンとして30年実務経験 ②エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:	①有②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合計)	週時間数	6時間		
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける 日本エステティック試験センター筆記試験				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テスト				
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集				
授業外学習 の方法	テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	解剖生理学	内分泌系		
	2	解剖生理学	血液		
	3	解剖生理学	ホルモン		
	4	解剖生理学	免疫系		
	5	解剖生理学	神経系		
	6	解剖生理学	感覚器		
	7	解剖生理学	泌尿器・生殖器		
	8	皮膚科学	肌分析		
	9	筆記テスト			
	10	テストの解説			
	11	皮膚科学	肌分析(相モデル)		
	12	皮膚科学	肌トラブルの原因		
	13	皮膚科学	シミ		
	14	皮膚科学	老化		
	15	皮膚科学	敏感肌		
	16	皮膚科学	アトピー		
	17	香粧品学			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務 I	指導担当者名	水野 直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	4時間
学習到達目標	社会人としての常識・マナーを身に付ける 翌年 6月 3級合格を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度・課題・検定結果・期末テスト		
使用教材	秘書ハンドブック・問題集・テキスト		
授業外学習の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	オリエンテーション	秘書検定について
	2	聞き方の基本	命令・指示・忠告を受ける際の聞き方
	3	交際業務	慶事・弔事・贈答(上書き・水引)
	4	パーティ・会議の知識	会議の形式・種類
	5	文書作成	社内・社外文書
	6	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い
	7	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い
	8	オフィス機器・事務機器・ファイリング	資料整理・環境管理
	9	検定対策	資料整理・環境管理
	10	検定自己採点・解説	解答解説
	11	期末テスト	解答解説
	12	期末テストの振り返り	解答解説
	13	接客マナー	サービスのマナーを学ぶ
	14	ご案内	文章とあいさつ
	15	接客応対	実践
	16	テーブルマナー	配膳とサービス
	17	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー		指導担当者名	村山 隆
実務経験	イメージスタジオ代表として25年の実務経験			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合計)	週時間数	2時間	
学習到達目標	Word,Excel,PowerPointの基礎を身につける			
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験			
使用教材	Excelクイックマスター基本編、Wordクイックマスター基本編			
授業外学習の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	パソコンの設定。ID、pass設定	
	2	Chapter1 Wordの基本 Chapter2 文字の入力と編集の基本操作	ページの書式設定 文字の書式設定 文字幅と文字間隔の設定 文字列の配置 字下げと行間の設定 禁則処理 罫線と網かけ	
	3	Chapter2 文章の編集	改ページの挿入、ヘッダーフッターの設定、印刷の実行	
	4	Chapter3 文章の印刷	あいさつ文、入力フォーマット(段落、段落。書式設定、タブ、インデント等	
	5	Chapter4 文章の作成	文章入力	
	6	Chapter5 表の挿入	表の作成、編集	
	7	Chapter6 図や写真を使う文章	図や写真を使った文章作成	
	8	総合学習問題	問題解凍後、回答解説	
	9	練習問題1	問題解凍後、回答解説	
	10	練習問題2	問題解凍後、回答解説	
	11	練習問題3	問題解凍後、回答解説	
	12	模擬問題1	問題解凍後、回答解説	
	13	模擬問題2	問題解凍後、回答解説	
	14	模擬問題3	問題解凍後、回答解説	
	15	模擬問題4	問題解凍後、回答解説	
	16	模擬問題5	問題解凍後、回答解説	
	17	模擬問題6	問題解凍後、回答解説	
	18	文章作成問題	問題解凍後、回答解説	
	19	テスト		
	20	まとめ		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー		指導担当者名	村山 隆
実務経験	イメージスタジオ代表として25年の実務経験			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
単位数	30時間(前後期合計)	週時間数	3時間	
学習到達目標	Word,Excel,PowerPointの基礎を身につける			
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験			
使用教材	テキスト・ノート・パソコン			
授業外学習の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	Chapter1	Excelの基本	
	2	Chapter2	データの編集(練習問題)	
	3	Chapter3	データ編集	
	4	Chapter4	印刷	
	5	Chapter5	グラフと図形の作成	
	6	Chapter6	ブック利用と管理	
	7	Chapter7	関数	
	8	Chapter8	データベース機能	
	9	総合問題	問題解凍後、回答解説	
	10	練習問題1	問題解凍後、回答解説	
	11	練習問題2	問題解凍後、回答解説	
	12	模擬問題1	問題解凍後、回答解説	
	13	模擬問題2	問題解凍後、回答解説	
	14	模擬問題3	問題解凍後、回答解説	
	15	模擬問題4	問題解凍後、回答解説	
	16	テスト		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	美容実習	指導担当者名	佐々木美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	2時間
学習到達目標	美容業界を目指すことで必要な立ち振る舞い、外見的美しさを研究する		
評価方法 評価基準	授業態度、テスト		
使用教材	ヘアーセット用品、メイク用品、はじめてのセットアップ参照		
授業外学習の方法			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	オリエンテーション	美容について
	2	美容技術者としての心構え	接客について
	3	美容技術者としての心構え	身だしなみ、言葉遣い、表情の作り方
	4	ヘアーセット	ブラッシングの仕方、ピンの使用方法、まとめ方
	5	ヘアーセット	ホットカラーの使い方
	6	ヘアーセット	ホットカラーの使い方、まとめ方
	7	ヘアーセット	コテの使用方法
	8	ヘアーセット	コテの使用方法、ハーフアップの仕方
	9	ヘアーセット	夜会巻き(すき毛の作り方、ネープのあげ方、撫でつけ)
	10	ヘアーセット	夜会巻き(ネープのあげ方、撫でつけ、ピン打ち、サイドのピン打ち)
	11	期末テスト	夜会巻き
	12	ヘアーセット	ハーフアレンジヘアー
	13	ヘアーセット	アップアレンジヘアー
	14	ヘアーセット	アレンジヘアー、作品作り(相モデル)
	15	就職用メイク	基礎メイク方法
	16	就職用メイク	ソフトメイク (相モデル)
	17	就職用メイク	ソフトメイク (相モデル)
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学	指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	トータルビューティ学科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	90時間	週時間数	3時間
学習到達目標	日本化粧品検定3級、2級取得を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度、テスト		
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2. 3級対策テキスト		
授業外学習の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後期	1	オリエンテーション	
	2	PART1 まちがえがちな美容知識をチェックする	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	3	PART2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	4	肌の構造	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	5	PART3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	6	肌タイプの見分け方	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	7	肌悩みの原因、お手入れについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	8	ニキビについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	9	シミについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	10	中間テスト	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	11	くすみ、くまについて、しわ、たるみの原因	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	12	メイクアップの基本テクニック	メイク用品
	13	ハイライト、シェーディングの入れ方	メイク用品
	14	アイシャドウ、アイライン、マスカラ、チーク、口紅	メイク用品
	15	PART4 美肌・美ボディー生活をおくるには	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	16	劣化させる原因、紫外線が肌に与える影響	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	17	マッサージの必要性、生活習慣、配合成分について	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	心理学	指導担当者名	阿部 友紀
実務経験	東北大学実務研究員7年		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	30時間	週時間数	2時間
学習到達目標	自己分析・コミュニケーション能力を通してセラピーや接客につなげる		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テスト		
使用教材	健康の心理学		
授業外学習の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	オリエンテーション	人間の心理とは
	2	健康心理学とは何か	心と体の関係性
	3	ストレスとその対処	ストレスとは
	4	ストレスとその対処	心理テスト
	5	ライフスタイルと健康増進	心理テスト
	6	ライフスタイルと健康増進	心理テスト
	7	生活習慣と疾病予防	体とのメカニズム
	8	生活習慣と疾病予防	病気との関係
	9	疾病とヘルスサービス	心理テストから自分を知る、
	10	疾病とヘルスサービス	心理テストから自分を知る、
	11	痛みとその対処	心理テストから自分を知る、
	12	痛みとその対処	テスト対策
	13	期末テスト	
	14	疾患と健康心理学	心理テストと精神ケア
	15	重篤な疾患と健康心理学	心理テストと精神ケア
	16	重篤な疾患と健康心理学	心理テストと精神ケア
	17	重篤な疾患と健康心理学	体とストレスと病気の関係
	18	重篤な疾患と健康心理学	ストレスをなくするための方法
	19	健康心理学の将来	ストレスをなくするための方法
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エステティック I		指導担当者名	柿沼文恵	
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年160時間(前後期合わせて)		週時間数	6時間	
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験				
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワン協会テキスト(実技)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション 身だしなみ・授業について	エステティックについて		
	2	エステ室の使用の仕方・清掃・洗濯・消毒	実習のマナーを学ぶ		
	3	ボディ実技導入・モデルの誘導(セッティン)	マニュアル作成		
	4	6大手技(軽擦法・強擦法・揉擦法)	相モデルでマッサージをやり合う		
	5	6大手技(打法・圧迫法・振動法)	相モデルでマッサージをやり合う		
	6	6大手技練習	相モデルで実習する		
	7	7大手技練習	相モデルで実習する		
	8	下肢後面マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	9	下肢後面マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習		
	10	背中マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	11	背中マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習		
	12	下肢前面マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	13	下肢前面マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習		
	14	腕マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	15	腕マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習		
	16	腹部マッサージ・拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	17	腹部マッサージ・拭き取り	マニュアルを見ながら練習		
	18	全体を通してマッサージ	全体の流れを把握		
	19	全体を通してマッサージ	全体の流れを把握		
	20	中間テスト ボディー実技			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	エステティック I		指導担当者名	柿沼文恵	
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年160時間(前後期合わせて)		週時間数	6時間	
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験				
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワン協会テキスト(実技)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後期	1	純水の作り方・準備物			
	2	ポイントクレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	3	ポイントクレンジング・ウィッグで練習	手順の確認テスト		
	4	クレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	5	クレンジング・ウィッグで練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	6	コットン拭き取り・ホットタオルの拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	7	コットン拭き取り・ホットタオルの拭き取り	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	8	クレンジング通し	相モデルでクレンジングを行う		
	9	フェイシャルマッサージ	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える		
	10	フェイシャルマッサージ	相モデルでクレンジングを行う		
	11	フェイシャルマッサージ	相モデルでクレンジングを行う		
	12	クレンジング・マッサージ	マニュアルを見ながら練習		
	13	クレンジング・マッサージ	マニュアルを見ながら練習		
	14	クレンジング・マッサージ	手順を覚えたら見ないで行う		
	15	クレンジング・マッサージ	手順を覚えたら見ないで行う		
	16	クレンジング・マッサージ	手順を覚えたら見ないで行う		
	17	期末テスト フェイシャル実技			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I	指導担当者名	五十嵐 愛
実務経験	ネイリスト実務経験10年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	通年225時間(前後期合せて)	週時間数	9時間
学習到達目標	ネイルの基礎を学び、ネイリスト技能検定3級、ジェルネイル初級を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テスト		
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル		
授業外学習の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理論	教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識
	2	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策
	3	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策
	4	ファイルの使い方・ケア	指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧
	5	ケア・カラー	ブッシュアップ・ニッパワーク・流れを説明・実習。
	6	ケア・カラー (カラ-5本指)	最初からの通し
	7	ケア・カラー	1つ1つ説明しながら相モデルで通し。
	8	アート	課題アートの描き方
	9	手指消毒～ケア	40分
	10	カラー～仕上げ	40分
	11	通し計測	80分
	12	中間テスト 通し計測	80分
	13	ネイル3級検定	検定試験
	14	ジェルネイルの基礎	ジェルとは ドライケア
	15	カラーリング	ジェルとポリッシュの違い
	16	アート	ジェルアート(ピーコック)
	17	カラーリングからアート	通し計測
	18	期末テスト	通し計測
	19	カラーリングからアート	通し計測
	20	ジェル初級検定	検定試験
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)(改定案)

科目名	ネイル I		指導担当者名	五十嵐 愛	
実務経験	ネイリスト実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	後期	対象学科学年	トータルビューティ学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年225時間(前後期合せて)		週時間数	6時間	
学習到達目標	ネイリスト技能検定2級1月を目指す				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テスト				
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	一年の復習	模擬試験		
	2	2級内容確認	検定説明		
	3	ネイルチップラップ説明	検定準備		
	4	ネイルチップラップ説明	溶剤の使用法		
	5	ネイルチップラップ説明	チップの合わせ方		
	6	ネイルチップラップ説明	ハンド使用		
	7	実技前半35分	相モデルで練習する		
	8	実技前半35分	相モデルで練習する		
	9	実技前半35分	相モデルで練習する		
	10	実技前半35分	相モデルで練習する		
	11	期末テスト			
	12	実技後半55分	相モデルで練習する		
	13	実技後半55分	相モデルで練習する		
	14	実技試験通し 90分	相モデルで練習する		
	15	ネイリスト検定2級	検定試験		
	16	復習	相モデルで丁寧に復習する		
	17	復習	相モデルで丁寧に復習する		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	メイク I		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	メイクの技術・知識を身に付ける FMS ベーシック修了試験				
評価方法 評価基準	授業態度・課題・技術試験				
使用教材	メイク教材 プロフェッショナルベーシックメイクアップコーステキスト(FORUM MAKE-UP)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	メイク教材チェック	材料の理解・使い方・検定について		
	2	骨格について	輪郭、パーツを知る。		
	3	肌の仕組み	肌の仕組み、状態を知る。		
	4	肌の仕組み	肌のタイプを知る。		
	5	第一印象、肌の状態、チェック。	実際相モデルで肌に触れ診断する。		
	6	マッサージ (自分の顔)	マッサージの仕方。		
	7	マッサージ (相モデル)	相手の肌に触れる。		
	8	ファンデーション(自分の顔)	色合わせ		
	9	ファンデーション(相モデル)	色合わせ		
	10	ファンデーション(相モデル)	色合わせ		
	11	アイメイク	グラデーションのやり方		
	12	アイメイク(ファンデーション～アイシャドー)	ファンデーションから通して実施		
	13	テスト	アイシャドウまで		
	14	アイブロー	眉の形について		
	15	アイブロー(ファンデーション～アイブロー)	ファンデーションから通して実施		
	16	アイブロー(ファンデーション～アイブロー)	ファンデーションから通して実施		
	17	チークについて	チークの位置、バランス		
	18	リップについて	リップの書き方		
	19	トータルメイク	トータルバランス確認の仕方		
	20	シェーディング・ハイライト	顔形にあったハイライト、シェーディング		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)(改定案)

科目名	メイク I		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	通年90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	メイクの技術・知識を身に付ける FMS ベーシック修了試験				
評価方法 評価基準	授業態度・課題・技術試験				
使用教材	メイク教材 プロフェッショナルベーシックメイクアップコーステキスト(FORUM MAKE-UP)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	全体バランスメイク	色合わせ、輪郭にあったメイクをする		
	2	タイム計測	全体のタイムを知る		
	3	シェーディング・ハイライト	顔形にあったハイライト、シェーディング		
	4	全体バランスメイク	色合わせ、輪郭にあったメイクをする		
	5	タイム計測	全体のタイムを知る		
	6	修了試験同様タイム計測	45分計測(時間内にできるようにする)		
	7	修了試験同様タイム計測	46分計測(時間内にできるようにする)		
	8	修了試験同様タイム計測	45分計測(時間内にできるようにする)		
	9	修了試験同様タイム計測	45分計測(時間内にできるようにする)		
	10	修了試験同様タイム計測	45分計測(時間内にできるようにする)		
	11	期末テスト			
	12	筆記対策	過去問対策		
	13	筆記対策	過去問対策		
	14	筆記対策	過去問対策		
	15	修了試験実技			
	16	修了試験筆記			
	17	メイクプラン作成	相手の顔を知る(輪郭・パーツ)		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	トータルビューティ学科1年
授業方法	講義:○	演習:◎	実習: 実技:
時間数	70時間	週時間数	3時間
学習到達目標	一年間の集大成としての作品作り		
評価方法 評価基準	プレゼン、提出課題		
使用教材	I pad メイク用品,メイクプランシート		
授業外学習の方法			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	パワーポイントの使い方	プレゼンテーションの方法(PC)を学ぶ
	2	パワーポイントの使い方	プレゼンテーションの方法を学ぶ
	3	テーマを決める	個人でテーマの材料を調査する
	4	作品案を考える	サンプル作成を行う
	5	企画書づくり	サンプル作成を行う
	6	企画書づくり	企画書の作り方を学ぶ
	7	ヘアメイクプランシート作成	テーマに合ったヘアメイクを検討する
	8	ヘア実践	相モデルでサンプル作成
	9	メイク実践	相モデルでサンプル作成
	10	ネイル案シート作成	ネイルシート作成
	11	ネイル作成	制作期間
	12	全体プランシート作成	制作期間
	13	期末テスト	制作期間
	14	パワーポイント作成	制作期間
	15	パワーポイント作成	プレゼン材料完成予定
	16	プレゼン練習	リハーサルを行う
	17	プレゼン発表	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務)	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合計)	週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動の心構え身だしなみ・目的意識の確認をし、内定を目標とする		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等		
使用教材	SUCCESS		
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	就職活動について
	2	就職活動の心構え身だしなみ	昨年の資料に基づくレクチャー
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い
	5	職業を知る	業界の常識をレクチャー
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	業界ごとに必要な仕事内容を理解する
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1	自己PRのネタを探す
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2	自己PRのネタを探す(経験)
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3	自己PRのネタを探す(特性)
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4	自己PRの骨格を作る
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5	自己PRの骨格を作る(実践編)
	14	志望動機の作り方 1	業界、会社にあった動機作り
	15	志望動機の作り方 2	業界、会社にあった動機作り
	16	自己PRの作り方1	業界、会社に合った自己PR 作り
	17	自己PRの作り方2	業界、会社に合った自己PR 作り
	18	自己PRの作り方3	業界、会社に合った自己PR 作り
	19	中間テスト	
	20	履歴書作成	まとめ
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務)		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
単位数	30時間(前後期合計)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	実践)業界、会社にあった動機作り	
	2	志望動機の作り方 2	実践)業界、会社にあった動機作り	
	3	作成書類 1	実践)加えて履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成	
	4	作成書類 2		
	5	作成書類 3		
	6	企業訪問	準備、当日、事後の指導をしてください	
	7	就職試験のマナー 1	入退室	
	8	職試験のマナー 2	面接試験対策1	
	9	職試験のマナー 3	面接試験対策2	
	10	筆記試験対策 1	筆記試験について、種類や方法を知る	
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	18	ポートフォリオについて	作品について	
	19	まとめ	就職活動のまとめ	
	20	レポート	レポート提出	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学Ⅱ		指導担当者名	①橋本利加子②柿沼文恵	
実務経験	①エステシャンとして30年実務経験 ②エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:	①有②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合計)	週時間数	3時間		
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける 日本エステティック試験センター筆記試験				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テスト				
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	香粧品学	化粧品の原料・成分		
	2	香粧品学	化粧品の原料・成分		
	3	香粧品学	基礎化粧品		
	4	香粧品学	基礎化粧品		
	5	栄養学	栄養学の基礎知識		
	6	栄養学	5大栄養素と食物繊維		
	7	栄養学	食物の吸収と消化吸収		
	8	栄養学	日本人の食事摂取基準		
	9	栄養学	食品の分類		
	10	栄養学	食と健康・健康食品と保健機能食品		
	11	衛生消毒	衛生消毒		
	12	衛生消毒	消毒法		
	13	テスト			
	14	救急法	救急法とは		
	15	救急法	手当の基本		
	16	救急法	現場での留意点・心肺蘇生		
	17	救急法	人工呼吸・心臓マッサージ		
	18	救急法	AED・急病・傷と止血		
	19	関連法規	エステティックと法律		
	20	関連法規	エステティック関連法規		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ビューティ学Ⅱ		指導担当者名	①橋本利加子②柿沼文恵	
実務経験	①エステシャンとして30年実務経験 ②エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:	①有②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合計)	週時間数	3時間		
学習到達目標	エステティックの学習を中心に美容全般に関する知識を身に付ける 日本エステティック試験センター筆記試験				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・口頭テスト・期末テスト				
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・日本エステティック試験センター例題集				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	サロン経営学	エステティック産業		
	2	サロン経営学	サロン運営		
	3	電気機器学	電流の三大作用・電気に関する用語		
	4	電気機器学	電気の種類・光の種類		
	5	カウンセリング	エステティックカウンセリングとは		
	6	カウンセリング	カウンセリングシート		
	7	心身生理学Ⅱ	資料を配布しレクチャーする		
	8	運動生理学Ⅱ	資料を配布しレクチャーする		
	9	筆記試験対策	過去問の模試		
	10	センター試験模擬テスト	検定		
	11	後期期末テスト			
	12	まとめ	サロンワークを学ぶ		
	13	まとめ	サロンワークを学ぶ		
	14	まとめ	サロンワークを学ぶ		
	15	まとめ	サロンワークを学ぶ		
	16	まとめ	サロンワークを学ぶ		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務Ⅱ		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合計)	週時間数	2時間	
学習到達目標	社会人としての常識・マナーを身に付ける 6月 3級合格を目指す			
評価方法 評価基準	授業態度・課題・検定結果・期末テスト			
使用教材	秘書ハンドブック・問題集・テキスト			
授業外学習 の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授 業 計 画 前 期	1	1年次の振り返り		
	2	聞き方の基本	命令・指示・忠告を受ける際の聞き方	
	3	交際業務	慶事・弔事・贈答(上書き・水引)	
	4	パーティ・会議の知識	会議の形式・種類	
	5	文書作成	社内・社外文書	
	6	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い	
	7	グラフ作成	カウンセリングによるグラフの作成方法	
	8	オフィス機器・事務機器・ファイリング	資料整理・環境管理	
	9	検定対策	過去問による対策授業	
	10	検定対策	過去問による対策授業	
	11	検定自己採点・解説	過去問による対策授業	
	12	期末テスト		
	13	期末テストの振り返り	復習	
	14	接客マナー	接客・サービスを学ぶ	
	15	接客マナー	接客・サービスを学ぶ	
	16	接客マナー	接客・サービスを学ぶ	
	17	ご案内	接客・サービスを学ぶ	
	18	接客応対	実践的に相モデルで行う	
	19	テーブルマナー	シュミレーションをたてる	
	20	まとめ	ふりかえり	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務Ⅱ		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	60時間(前後期合計)	週時間数	2時間	
学習到達目標	社会人としての常識・マナーを身に付ける 11月の2級合格を目指す			
評価方法 評価基準	授業態度・課題・検定結果・期末テスト			
使用教材	秘書ハンドブック・問題集・テキスト			
授業外学習 の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	3級の振り返り	復習(テキストを使い確認していく)	
	2	聞き方の基本	命令・指示・忠告を受ける際の聞き方	
	3	交際業務	慶事・弔事・贈答(上書き・水引)	
	4	パーティ・会議の知識	会議の形式・種類	
	5	文書作成	社内・社外文書	
	6	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い	
	7	グラフ作成	社内・社外文書	
	8	オフィス機器・事務機器・ファイリング	資料整理・環境管理	
	9	2級検定対策	過去問による対策	
	10	2級検定対策	過去問による対策	
	11	期末テスト		
	12	接遇マナー	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ	
	13	接遇マナー	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ	
	14	ご案内	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ	
	15	接客応対	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ	
	16	テーブルマナー	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ	
	17	まとめ	レポート提出	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	エステティックⅡ		指導担当者名	柿沼 文恵	
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	トータルビューティ科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	160時間(前後期合計)		週時間数	6時間	
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験				
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワン協会テキスト(実技)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション・1年次の振り返り	2年次の流れの説明		
	2	フェイシャル	クレンジング・マッサージの復習		
	3	エステ機器	機器の準備・使用上の注意		
	4	ディーブクレンジング	キッシングを学ぶ		
	5	ディーブクレンジング	ブラシでの演習		
	6	ディーブクレンジング	酵素パックの演習		
	7	エステ機器	イオン導入・エレクトロクレンジングの使用法を学ぶ		
	8	エステ機器	バターの演習		
	9	カウンセリング	カウンセリングシートの作成		
	10	カウンセリング・ディーブクレンジング	モデルのカウンセリングを行いチェックをもらう		
	11	カウンセリング・ディーブクレンジング	モデルのカウンセリングを行いチェックをもらう		
	12	カウンセリング・エステ機器	モデルのカウンセリングを行いチェックをもらう		
	13	テスト			
	14	マッサージ・パック	デモンストレーションから演習		
	15	マッサージ・パック	デモンストレーションから演習		
	16	フェイシャル試験の流れ(前半)	デモンストレーションから演習		
	17	フェイシャル試験の流れ(前半)	デモンストレーションから演習		
	18	" (後半)	デモンストレーションから演習		
	19	" (後半)	デモンストレーションから演習		
	20	" (後半)	デモンストレーションから演習		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	エステティックⅡ	指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	160時間(前後期合計)	週時間数	6時間
学習到達目標	ボディ・フェイシャルエステの基礎を学び、エステティックセンター試験実技試験を目指す。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。実習を通して、技術・知識・接客マナーなどを身に付ける。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技試験		
使用教材	化粧品・タオル・バスタオル・ソワン協会テキスト(実技)		
授業外学習の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ボディトータル実習	相モデルでコースを組み合わせやり合い、理想のプロポーションを目指す
	2	ボディ実技の応用	マッサージ
	3	ボディ実技の応用	ヒートマット・赤外線機器・フットバス
	4	ボディ実技の応用	バイブレーション機器
	5	ボディ実技の応用	低周波・超音波・サクシオン
	6	ボディ実技の応用	低周波・超音波
	7	ボディ実技の応用	サクシオン
	8	ボディ実技の応用	バイブレーション機器・低周波・超音波・サクシオン
	9	ボディ実技の応用	バイブレーション機器・低周波・超音波・サクシオン
	10	ボディ実技の応用	バイブレーション機器・低周波・超音波・サクシオン
	11	テスト	
	12	WAX脱毛	脱毛理論・準備物
	13	WAX脱毛	WAX脱毛のデモ
	14	WAX脱毛	相モデル 脚(ひざ下前面)
	15	WAX脱毛	相モデル 腕
	16	WAX脱毛	相モデル 脚(ひざ下後面)
	17	WAZ脱毛テスト	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイルⅡ		指導担当者名	大原 麻弥	
実務経験	ネイリスト 実務経験7年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合計)		週時間数	3時間	
学習到達目標	ジェルネイルの基礎を身に付け、デザイン力を身に付ける				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テスト				
使用教材	ネイル用具・ジェルネイルセット				
授業外学習の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 前期	1	ジェルネイルの基礎	ジェルとは		
	2		ドライケア		
	3	カラーリング	ジェルとポリッシュの違い		
	4	カラーリング			
	5	アート	ジェルアート(ピーコック)		
	6	アート	グラデーション		
	7	アート	フレンチ		
	8	アート	マーブル		
	9	アート	グリッター・ストーンの使い方		
	10	夏アート	相モデル		
	11	夏アート	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ		
	12	夏アート	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ		
	13	テスト			
	14	秋アート	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ		
	15	秋アート	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ		
	16	秋アート	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ		
	17	ジェルアート レース	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ		
	18	ジェルアート レース	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ		
	19	ジェルアート レース	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ		
	20	作品作り	オリジナル作品を制作		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイルⅡ	指導担当者名	大原 麻弥
実務経験	ネイリスト 実務経験7年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合計)	週時間数	3時間
学習到達目標	ジェルネイルの基礎を身に付け、デザイン力を身に付ける		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テスト		
使用教材	ネイル用具・ジェルネイルセット		
授業外学習の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ジェルアート 宝石	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	2	ジェルアート 宝石	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	3	ジェルアート 宝石	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	4	ジェルアート シースルー	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	5	ジェルアート シースルー	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	6	ジェルアート シースルー	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	7	ジェルアート チェック	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	8	ジェルアート チェック	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	9	ジェルアート チェック	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	10	ジェルアート 豹柄	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	11	ジェルアート 豹柄	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	12	テスト	
	13	ジェルアート ニット柄	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	14	ジェルアート ニット柄	相モデルを使用、アートや3Dを学ぶ
	15	ジェルアート 作品作り	オリジナル作品の制作
	16	ジェルアート 作品作り	オリジナル作品の制作
	17	発表	プレゼンテーション
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	メイクⅡ		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合計)		週時間数	3時間	
学習到達目標	メイクテクニックを身に付ける フェイスプランを立て、そのメイクができるようになる 卒業制作				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・メイクプラン・期末テスト				
使用教材	メイクボックス 資料配布				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	2年次の流れを確認		
	2	1年次の復習	相モデルでメイクを行う		
	3	スキンケア・コスメの質	相モデルでメイクを行う		
	4	印象分析	写真を撮って印象分析		
	5	印象分析・ナチュラルメイク	写真を撮って自己評価		
	6	遠心顔・求心顔・パーツバランス	フェイスプランシートを作成		
	7	錯視メイク(遠心顔)	フェイスプラン・カルテ作り		
	8	錯視メイク(遠心顔)	相モデル		
	9	錯視メイク(求心顔)	フェイスプラン・カルテ作り		
	10	錯視メイク(求心顔)	相モデル		
	11	真逆のイメージメイク	フェイスプラン・モデルの分析		
	12	真逆の印象メイク	相モデル		
	13	テスト	相モデル		
	14	修正メイクのテクニック法	デモンストレーションと演習		
	15	魅力的にみせるメイク	イメージメイク作品づくり		
	16	魅力的にみせるメイク	相モデル		
	17	特殊メイク	傷・やけど		
	18	特殊メイク	傷・やけど		
	19	つけまつ毛のつけ方・保管の仕方	デモンストレーションと演習		
	20	まとめ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	メイクⅡ		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ科2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合計)		週時間数	3時間	
学習到達目標	メイクテクニックを身に付ける フェイスプランを立て、そのメイクができるようになる 卒業制作				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・メイクプラン・期末テスト				
使用教材	メイクボックス 資料配布				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後期	1	前期の振り返り			
	2	フェイスプランの立て方			
	3	フェイスプランの立て方	資料配布し説明とデモンストレーション		
	4	ハロウィンメイク	フェイスプラン		
	5	特殊メイクテクニック	動物やモンスター等		
	6	特殊メイクテクニック	衣装も含めたトータルコーディネート		
	7	パロウィンパーティ	セルフメイク・写真撮影		
	8	ハロウィンメイク自己評価	セルフメイク・写真撮影		
	9	卒業制作メイクプラン	テーマやコンセプトを決める		
	10	テーマにそったイメージメイク	コンセプト・メイクプラン		
	11	プレゼン発表テスト	テーマに沿ったプレゼンを行う		
	12	卒業制作作用メイク	メイクプラン作成		
	13	卒業制作作用メイク	メイクプラン作成		
	14	卒業制作作用メイク	実践的にモデルにメイクをする		
	15	卒業制作作用メイク	実践的にモデルにメイクをする		
	16	卒業制作作用メイク	実践的にモデルにメイクをする		
	17	まとめ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	メイクコース		指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	200時間(前後期合計)		週時間数	9時間
学習到達目標	ハリウッドエアー エアブラシの技術 メイクセラピー検定3級合格を目指す			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テスト・作品の仕上がり			
使用教材	メイク教材 メイクセラピーテキスト			
授業外学習 の方法	予習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	エアブラシの特徴	基本技術・特徴	
	2	エアブラシ演習	ファンデーション	
	3	エアブラシ演習	カラーの選び方	
	4	エアブラシ演習	エアーブラシの使い方。	
	5	エアブラシ演習	ブラシの角度	
	6	エアブラシ演習	相モデル	
	7	エアブラシ演習	パーツに合わせた技術の確認	
	8	エアブラシ演習	ステンシルの使い方	
	9	エアブラシ演習	スキンケア～仕上げ	
	10	エアブラシ演習	タイム計測	
	11	エアブラシ演習	タイム計測	
	12	エアブラシ演習	タイム計測	
	13	テスト		
	14	まとめ	確認	
	15	フェイスプランについて	立体メイク テキスト(p. 4～7)	
	16	相モデルでナチュラルメイク	テキスト(p. 8～10)	
	17	セルフメイク 立体メイク	テキスト(p. 10～17)	
	18	立体メイク応用編	メイクセラピー テキスト(p. 26～29)	
	19	メイクアップ概論	テキスト(p. 34～37)	
	20	遠心メイク	テキスト(p. 38～43)	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	メイクコース		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	200時間(前後期合計)		週時間数	9時間	
学習到達目標	ハリウッドエアー エアブラシの技術 メイクセラピー検定3級合格を目指す				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テスト・作品の仕上がり				
使用教材	メイク教材 メイクセラピーテキスト				
授業外学習 の方法	予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	錯覚メイク	テキスト(p. 44～47)		
	2	テーマにそったメイクプラン作成	テキスト(p. 18～21)		
	3	技術テスト(40分)	テキスト(p. 22～25)		
	4	メイクセラピーテキストまとめ	メイクセラピーDVD		
	5	メイクセラピー練習問題対策	過去問題模擬試験		
	6	メイクセラピー模擬テスト	過去問題模擬試験		
	7	特殊メイク	ハロウィンメイク		
	8	特殊メイク	作品写真撮り		
	9	洋装ブライダルメイク プラン作成	テーマ別プラン作成		
	10	洋装ブライダルメイク作成	作品写真撮り		
	11	テスト			
	12	ピエロメイク プラン作成	テーマ別プランの作成		
	13	ピエロメイク作成	作品写真撮り		
	14	宝塚メイクプラン作成	テーマ別プランの作成		
	15	宝塚メイク作成	作品写真撮り		
	16	セラピー検定	検定		
	17	まとめ	レポート		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイルコース		指導担当者名	①遠藤淳子 ②五十嵐愛	
実務経験	①ネイルサロンオーナー 実務経験34年 ②ネイリストサロン実務経験5年			実務経験:	①有②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:○	実技:	
時間数(通年)	200時間(前後期合計)		週時間数	9時間	
学習到達目標	ネイル技能検定1級、ジェル中級、上級を目指す。				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技テスト				
使用教材	ネイル用具				
授業外学習の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	ジェル中級検定確認	ジェル中級検定対策		
	2	ジェル中級検定確認	ジェル中級検定確認(実技・筆記)		
	3	ネイルケア-	ネイルケア-		
	4	第一課題	第一課題ネイルケア-、カラーリング		
	5	第一課題	第一課題ネイルケア-、カラーリング		
	6	第一課題	第一課題ネイルケア-、カラーリング		
	7	第二課題	第二課題ジェルオフ		
	8	第二課題	第二課題ジェルグラデーション		
	9	第二課題	第二課題ジェルイクステンション		
	10	第一第二課題	ポリッシュオフ		
	11	第一第二課題	ジェルフレンチカラーリング		
	12	第一第二課題	復習・テスト範囲確認		
	13	テスト			
	14	ジェル中級検定	ジェル中級検定		
	15	ネイル1級検定対策	ネイル1級検定内容確認		
	16	ネイル1級検定対策	ネイルイクステンション スカルプ		
	17	ネイル1級検定対策	ネイルイクステンション スカルプ		
	18	ネイル1級検定対策	ネイルイクステンション スカルプ		
	19	ネイル1級検定対策	ネイルイクステンション チップオーバーレイ		
	20	ネイル1級検定対策	ネイルアート		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	ネイルコース	指導担当者名	①遠藤淳子 ②五十嵐愛
実務経験	①ネイルサロンオーナー 実務経験34年 ②ネイリストサロン実務経験5年		実務経験: ①有②有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 2年
授業方法	講義:	演習:○	実習:○ 実技:
時間数(通年)	200時間(前後期合計)	週時間数	9時間
学習到達目標	ネイル技能検定1級、ジェル中級、上級を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技テスト		
使用教材	ネイル用具		
授業外学習の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	ネイル1級検定対策	ネイルアート
	2	ネイル1級検定対策	通し
	3	ネイリスト技能検定1級検定	ネイリスト技能検定1級検定
	4	復習	復習
	5	ジェル上級検定対策	ジェル上級検定内容確認
	6	ジェル上級検定対策	スカルプ
	7	ジェル上級検定対策	スカルプ
	8	ジェル上級検定対策	チップオーバーレイ
	9	ジェル上級検定対策	チップオーバーレイ
	10	ジェル上級検定対策	チップオーバーレイ デザイン
	11	テスト	
	12	ジェル上級検定	チップオーバーレイ デザイン
	13	ジェル上級検定	チップオーバーレイ フレンチ
	14	ジェル上級検定	チップオーバーレイ フレンチ
	15	ジェル上級検定	通し
	16	ジェル上級検定	ジェル上級検定
	17	まとめ	まとめ
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	エステコース		指導担当者名	柿沼 文恵	
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 2年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	200時間(前後期合計)		週時間数	9時間	
学習到達目標	上級資格取得 AEA上級認定エステティシャン(9月) ソワンエステティック協会ビューティセラピスト(1月)				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・確認テスト・技術試験				
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・例題集 AEAエステティシャン問題集				
授業外学習の方法	予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	AEAの説明		
	2	コースの説明	コースのシラバスの説明		
	3	AEA試験に向けて計画	筆記試験・実技試験に向けての計画		
	4	FA実習	フェイシャル技術応用		
	5	FA実習(カウンセリング)	フェイシャルカウンセリングシートの作成(応用)		
	6	皮膚科学	AEA問題集科目別テスト		
	7	BO実習	ボディ実習(応用)		
	8	BO実習(カウンセリング)	ボディのカウンセリングシート作成(応用)		
	9	解剖生理学・心身生理学	テキスト過去問題		
	10	FAマッサージ(6大手技)	フェイシャル実技(応用)		
	11	FAマッサージ	フェイシャル実技(応用)		
	12	運動生理学・栄養学	テキスト過去問題		
	13	テスト			
	14	FAカウンセリング	サロンでの実務的なサービスを学ぶ		
	15	FAクレンジング・パック	サロンでの実務的なサービスを学ぶ		
	16	化粧品学・エステ機器学	テキスト過去問題		
	17	AEA実技練習	検定対策(実技)		
	18	カウンセリング・マネジメント	AEA問題集科目別テスト		
	19	東洋・西洋セラピー	AEA問題集科目別テスト		
	20	まとめ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	エステコース		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	200時間(前後期合計)		週時間数	9時間
学習到達目標	上級資格取得 AEA上級認定エステティシャン(9月) ソワンエステティック協会ビューティセラピスト(1月)			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・確認テスト・技術試験			
使用教材	ソワンエステティック協会テキスト・例題集 AEAエステティシャン問題集			
授業外学習の方法	予習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	生理解剖学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する	
	2	生理解剖学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する	
	3	脳生理学・運動生理学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する	
	4	脳生理学・運動生理学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する	
	5	栄養学・化粧品学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する	
	6	栄養学・化粧品学	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する	
	7	電気機器・衛生消毒・救急法	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習	
	8	電気機器・衛生消毒・救急法	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習	
	9	カウンセリング・サロン経営・接客マナー	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習	
	10	カウンセリング・サロン経営・接客マナー	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習	
	11	テスト		
	12	東洋・西洋のトリートメント	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習	
	13	脱毛学・フェイシャル・ボディ実技理論	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習	
	14	実技試験最終確認	試験対策	
	15	ソワンエステティック協会実技試験	検定試験(実技)	
	16	アロマ・リフレ・ネイル・メイク	ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用・実技練習	
	17	ソワン筆記試験模擬試験	検定試験(筆記)	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:◎	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合計)	週時間数	3時間	
学習到達目標	2年間の集大成としての作品作り			
評価方法 評価基準	プレゼン、提出課題			
使用教材	I pad メイク用品 ヘア用品			
授業外学習の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	一年の復習	今後の流れを確認する	
	2	パワーポイントの使い方	パワーポイント使用の確認	
	3	卒業制作	テーマを決める	
	4	卒業制作	デザイン案を制作する	
	5	卒業制作	企画書を作成する	
	6	卒業制作	企画書を作成する	
	7	ヘアメイクプランシート作成	企画書を作成する(プランシート)	
	8	ヘア実践	相モデルによる練習	
	9	ヘア実践	相モデルによる練習	
	10	ヘア実践	相モデルによる練習	
	11	ヘア実践	相モデルによる練習	
	12	メイク実践	相モデルによる練習	
	13	期末テスト		
	14	ネイル実践	相モデルによる練習	
	15	ネイル案シート作成	相モデルによる練習	
	16	ネイル作成	相モデルによる練習	
	17	ネイル作成	相モデルによる練習	
	18	ネイル作成	相モデルによる練習	
	19	全体プランシート作成	プランニングシート提出	
	20	全体プランシート作成	見直し	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	トータルビューティ学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:◎	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合計)	週時間数	3時間	
学習到達目標	2年間の集大成としての作品作り			
評価方法 評価基準	プレゼン、提出課題			
使用教材	I pad メイク用品 ヘア用品			
授業外学習の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	衣装合わせ	衣装制作(コーディネート)手配	
	2	衣装合わせ	衣装制作(コーディネート)手配	
	3	パワーポイント作成	プレゼン資料作成	
	4	パワーポイント作成	プレゼン資料作成	
	5	パワーポイント作成	プレゼン資料作成	
	6	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	7	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	8	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	9	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	10	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	11	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	12	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	13	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	14	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	15	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
	16	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う	
		17	卒業制作発表	プレゼン
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	企業実習	指導担当者名	企業指導者
実務経験	実習企業指導者		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	30時間
学習到達目標	実践授業の一環として、目指す業界の仕事に触れることでマナーや仕事内容を理解する。		
評価方法 評価基準	実習態度や実習対応力を中心に、基礎的知識等を判断していただき、評価表を提出する。		
使用教材	企業毎に違う		
授業外学習 の方法	自宅での予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計 画 前 期	1	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	2	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学	指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	トータルビューティ学科 2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	45時間	週時間数	3時間
学習到達目標	日本化粧品検定1級取得を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度、テスト		
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定1級対策テキスト		
授業外学習の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	PART1 化粧品の歴史	テキスト使用
	2	PART2 原料と基礎知識	化粧品の原料について
	3	PART2 原料と基礎知識	スキンケア化粧品
	4	PART2 原料と基礎知識	スペシャルケア、男性肌の特徴
	5	PART2 原料と基礎知識	メイクアップ化粧品
	6	PART2 原料と基礎知識	ポイントメイクアップ化粧品
	7	PART2 原料と基礎知識	ボディ化粧品
	8	PART2 原料と基礎知識	毛髪の構造とヘアケア製品について
	9	PART2 原料と基礎知識	ネイルの構造について、香りの成分と働き
	10	PART2 原料と基礎知識	オーラルケアとケア製品、サプリメントの基礎知識
	11	テスト	
	12	PART3 化粧品にまつわるルール	化粧品と医薬品医療機器等法、化粧品・薬用化粧品・医薬部外品の効能と効果
	13	PART3 化粧品にまつわるルール	化粧品の広告やPRのためのルール、化粧品の全成分表
	14	PART3 化粧品にまつわるルール	化粧品の安全性を守るためのルール、化粧品を安全に保つために、化粧品と肌トラブル
	15	PART3 化粧品にまつわるルール	化粧品の官能評価
	16	PART3 化粧品にまつわるルール	おもな化粧品成分
	17	検定対策	過去問題
	18	検定対策	模擬問題
	19	検定試験	
	20	まとめ	検定の振り返り
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			